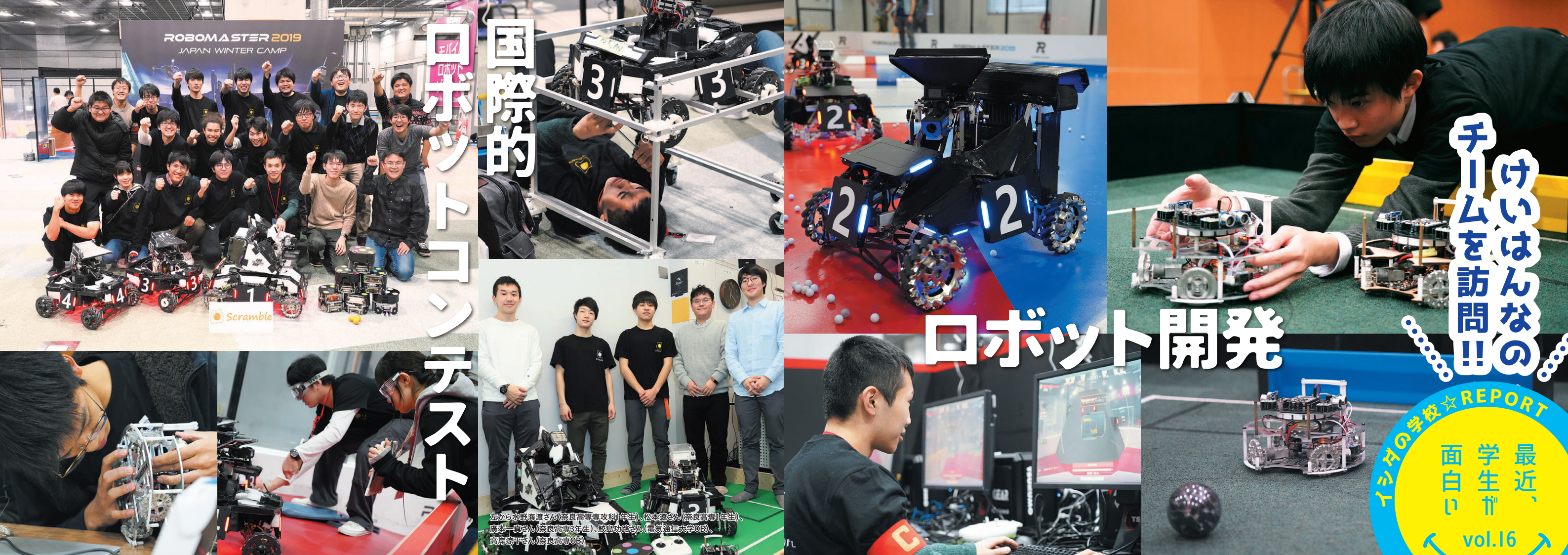




けいはんなの
チームを訪問!!

最近、
学生が
面白い
面白い
REPORT
vol.16

ロボットで世界一を目指す!
国内有数、技術系学生チーム「Scramble」
世界200チームが参加するロボット大会で
初出場ながら日本公式戦優勝を獲得!
社会人・企業の支援により
ものづくり技術を磨く学生を取材した。

ロボットの作り取り、学生主体のチーム「Scramble」(スクランブル)。メンバーは、高専と大学生、大学院生といった学生が56名、サポートを担う社会人19名の計75名。東京大学特任助教の川節拓実氏が代表を務める。

「複数のロボコンに出場し、学生主体でロボットを開発する私設団体は、全国でも珍しいようです」と、ロボマス班キャプテンの廣本一真さん。活動の主な拠点は、京都府精華町・けいはんなオープンイノベーションセンター、舞鶴高専、豊橋技科大学。北は仙台、南は鹿児島まで全国各地のメンバーはそれぞれ設計、パーツ作成などの役割をもっており、オンラインのチャットでミーティングを行って

現在4つのロボコンに参加。2019年、
「僕たちの夢は、国際的なロボットコンテストで世界一になること。技術を磨いてロボットの精度を高め、さまざまな大会で頂点を目指したい」と、廣本さん。社会人としてアドバイザーを務める高岸涼平さんは「私たちの役割は、学生たちがロボット作りに没頭できるようにサポートすること。一緒に切磋琢磨した彼らが社会に羽ばたいていくのを見送るときは、感慨深いものがあります」と語る。彼らは、優秀なロボット作りだけを目指すのではない。ロボット作りに取り組むメンバーが自由に成長し、活躍できる環境

のような名前が付けられているのが微笑ましい。「僕たちの夢は、国際的なロボットコンテストで世界一になること。技術を磨いてロボットの精度を高め、さまざまな大会で頂点を目指したい」と、廣本さん。社会人としてアドバイザーを務める高岸涼平さんは「私たちの役割は、学生たちがロボット作りに没頭できるようにサポートすること。一緒に切磋琢磨した彼らが社会に羽ばたいていくのを見送るときは、感慨深いものがあります」と語る。彼らは、優秀なロボット作りだけを目指すのではない。ロボット作りに取り組むメンバーが自由に成長し、活躍できる環境

ISHIDA

イシダは
学生の活動を
応援しています。

株式会社イシダ
〒606-8392
京都市左京区聖護院山王町44番地
もよりバス停は「熊野神社前」

新卒採用の情報は
こちらからご確認ください

はかりしれない技術を、世界へ。

ISHIDA

イシダ 採用 検索